

下館二高の生徒 8 人が 2 日間の看護師体験

下館二高の生徒 8 人が 8 月 2、3 の 2 日間、インターンシップとして城西病院を訪れ、看護師の仕事などを体験しました。8 人は全員、将来、看護師になりたいという希望があり、一つ一つの体験に真剣に挑み、分からないことがあると、すぐに看護師に質問するなど、熱心に取り組んでいました。

体験初日は、簡単に城西病院や達生堂グループについて説明した後、病院内を見学。手術室や救急処置室、透析センター、MRI、CT などを見て回りました。手術室では、手術台に寝て、患者さんになった気持ちになったり、MRI など放射線技師から機械の説明を受けたりしました。

午後と 2 日目は内科病棟と外科病棟に分かれて、看護師の体験をしました。車いすやストレッチャーに実際に乗って、患者さんがどう感じるかを実際に体験。ストレッチャーで坂を下るとき、頭から降りると怖かったり、気分が悪くなるのを身をもって体験。病棟では、看護師さんについて実際の仕事を見たり、おむつを体験したり、聴診器でお腹の音を聞いたり、患者さんと話したりと、さまざまな体験をしました。

寂室萌樺さんは「おむつ交換をお互いにしたり、戦争中のお話を患者さんから聞いたり、めったにできない経験をしました」と話していました。国府田希さんは「親が看護師で、かっこいいと思った。体験して格好いいと思ったが、とても忙しそうだった」と感想。野口瞳さんは「けがをして病院に行ったとき、看護師が優しくていいなど思った。実際に職場を体験し、みんなきびきびと忙しく動いていたけど、とても優しくかった」と振り返っていました。

平成 29 年 8 月 3 日

